

愛・誠・勇

福島市立福島第三小学校

令和 元 年度『学校だより』

第8号 R元, 7, 19

校 長 佐藤 秀美

文責 教務主任 齋藤 康則

有終の美を飾る

平成で始まった1学期が、今日で終わりました。子どもたちは、学習、運動、生活、それぞれに一生懸命取り組み、すばらしい成長を遂げることができました。大きな事故に遭うことや、病気やけがで長期欠席することもなく過ごすことができましたことをうれしく思います。毎日毎日見守っていただいたご家族の皆様に心から感謝申し上げます。

明日から、8月21日（水）まで33日間の「夏休み」となります。例年より3日ほど短い夏休みとなりますので、学習課題に計画的に取り組んだり、日々の生活習慣をより一層規則正しくなるよう心がけたりと、「ひとみを輝かせて」有意義な夏休みを送ってほしいと思います。ご家庭での励ましをよろしくお願いします。

宿泊学習(5年生)

5年生が、11日（木）から13日（土）まで2泊3日で、会津自然の家で「宿泊学習」を行いました。

宿泊学習では〈自然のすばらしさを感じる力〉〈自然を大切にできる力〉〈友達を思いやる力〉〈友達と協力する力〉〈集団行動ができる力〉〈真剣に行動する力〉〈進んで行動する力〉を育てるために各活動や体験、そして自然の家での生活を行いました。どの活動でも班長を中心に充実した学習・体験が行われ、最終日にはすばらしい活動ができたことへの感謝の気持ちを表すことができました。子どもたちの代表のあいさつには、この経験をこれからの学校生活に活かしていきたいという決意が込められていました。



丹波の森ミニコンサート

17日（水）の3校時に兵庫丹波の森協会によるミニコンサートを行いました。

この協会は、音楽祭やコンサート会場で集めた義援金で楽器を購入し、東日本大震災で被災した県の小学校に贈呈するとともに、依頼した音楽家が学校を訪問してミニコンサートを開催し、音楽を通じて支援する活動を行っています。今回本校がその対象としてトランペットをいただきました。そして、山形交響楽団の井上さん（主席トランペット奏者）と大学講師の高橋さん（ピアノ）が、「君をのせて」などを演奏してくださいました。また、「栄冠は君に輝く」を特設音楽部とジョイントしたり、「校歌」と「歌よありがとう」を全校生で歌ったりしました。

青空の下、きれいなトランペットの音色に、「愛の庭」が本格的なコンサート会場になったかのようでした。



1. 家庭とは？

子どもが家で身につけたことは、
生涯、ずっと生き続ける。



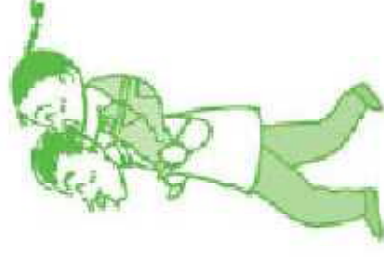
- 子どもたちのいちばんの願い、それは何だと思いますか？
- 自分を大切にできないならば、子どもを大切にすることもできない。
- 子育ては母親の仕事、そう思っているお父さんは要注意。
- 話せばわかるとは限らないが、話さなければもともとわからない。
- 前向きな親の姿は、きっと子どもに届いている。
- これまでの常識では通用しない問題が増えている。
- あなたの生き方が、子どもへの最高の教育になる。

子どもたちのいちばんの願い、 それは何だと思いますか？

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子どもたちに聞いたところ、どの年代の子どもでもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子どもたちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。

必要なモノさえ与えていれば子どもは育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。

子どもにとって心安らぐ居場所になっているかどうか、家庭を見つめ直してみよう。



安らぎのある楽しい家庭をつくる